

資源は誰のものか～各国の資源事情と戦略～

著者名 西川有司（元三井金属資源開発株・日本メタル研究所／現欧州復興開発銀行顧問・放送大学非常勤講師）

A5判 価格 1,000円＋税（2014年 朝陽会）

資源の探査・開発・評価に関わってきた“国際資源専門家”が問う「資源は誰のものか？」

資源国のものじゃないの？—そんな問いを袈裟懸けにする、かなりむごい資源搾取の歴史を現場報告。映画『ブラッドダイヤモンド』さながらに、資源の世界を探訪できる。「時の法令」好評連載の単行本化。

著者は「おもしろサイエンス」シリーズ、「トコトンやさしいレアアースの本」など諸作多数。

〔帯より〕

資源で世界が見えてくる！

資源の歴史は、資金と技術をもつ欧米による収奪で始まった。

今なお その真ただ中で、自国の利益確保のため世界はどう動いているか？

国際資源専門家の現場報告！

〈目次〉

- 1 鉱業法は、誰のために、何のためにあるのか
- 2 鉱業法で資源を守れるか？=アフリカに見る実情=
- 3 ロシアの資源防衛策 =資源大国ロシアのやりかた=
- 4 小国は資源を守れるのか。コーカサスのサバイバル
- 5 バルカンは、火薬庫から資源供給基地へ
- 6 資源国に向かって、ゼロからスタートしたカンボジア
- 7 資源大国中国の建前と実態
- 8 資源解放のミャンマーと、資源で成長のラオス
- 9 資源大国カナダの世界展開
- 10 欧米化しつつ、我が道を歩む資源大国インド
- 11 南米のリーダー、21世紀資源大国ブラジルの底力

12 自立しなければ、日本の資源獲得に明日はない